

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型児童発達支援 はにーびー		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高い支援の専門性と保護者様満足度、かつ手厚い職員配置：専門的な支援を丁寧に行う体制が整っており、保護者満足度が高い点は大きな強みです。	個別支援計画を保護者様に説明し、日々の支援を記録して共有しています。現在はお子様1.2名に対し職員1名を配置するなど、安全確保を重視した配置を行っています。	支援成果をデータ化して定性的に可視化する「成長レポート」の作成をし、お子様への【はにーびーの支援の効果】を示す指標を導入したいと考えています。
2	安全管理と訓練の徹底：事故防止や緊急時対応などのマニュアル整備と訓練実施により、安全な支援環境を維持しています。	事故防止マニュアル・緊急時対応・感染症対応・BCP等を整備し、定期的に訓練を実施しています。また、訓練記録も残しており、反省点を次回訓練時へ展開しています。	訓練の実施記録や良かった点・反省する点を事業所内に蓄積して、事業所の知見としていきたいと考えております。
3	日常の情報共有と保護者対応の丁寧さ：HUGやLINE等で日々の様子を細かく伝え、送迎時の短時間の情報交換も大切にしています。	HUGでの日常の活動報告（写真付き）、LINEでの個別連絡・相談対応、送迎時の口頭共有を組み合わせることで情報伝達を行っています。また、食育を実施する場合のアレルギーの確認も怠らず実施しています。	情報発信チャンネルを整理し、月間予定や行事報告の保護者様への展開を継続いたします。また、情報の見落としを防ぐために、LINEを利用したフォローアップも行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	内部研修時間の確保：研修の時間確保が難しい（研修機会はあがるが時間が取りにくい）	シフト制や送迎業務の関係で、まとまった研修時間を確保しにくい。外部研修は補助があるが、事業所内での集合研修の回数が限られている。	弊社では、職員が希望する研修を受講するための補助やシフト調整を行っていますが、利用される方が限定されています。各職員への再度啓もうすなどを継続したいと思います。
2	保護者同士の交流を創出する余地がある：保護者様のニーズに応じた交流機会を設けることで、家庭間の支援力向上につながる可能性があります。	保護者会や父母の会の開催要望が少ないため、周知方法や開催形式が確立していない。	保護者様からの開催要望が少ないため、個別の相談等を実施しております。今後、要望が増えたら、開催等も含めて検討したいと考えています。
3	職員のチーム運営と学びの場を拡充する：プログラム立案や振り返りを組織的に強化することで、支援の質をさらに高める。	活動プログラム立案が担当者に偏っている。また、支援終了後の振り返りが時間的制約で不十分。	プログラム立案を複数名体制にし、色々な職員に立案を経験して頂きます。 また、支援記録をデータ化して支援成果を定性的に可視化する「成長レポート」の作成を検討し、時間的制約がある中でも支援の振り返りが出来るようにしたいと考えています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
多機能型児童発達支援 はにーびー		2026年2月24日				3	3
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	3	0	0	0		今後も、日々の安全な活動のために、支援室は広いスペースを確保できるように留意いたします。加えて、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	2	3	0	0	0		現在、お子様1.2名に対し、職員を1名配置しております。ご利用されるお子様の低年齢化もあり、安全に支援ができる体制を整えております。
	3	3	0	0	0		マンションの2階へ上がる階段の昇降時には、職員と手をつなぎ、手すりを持ってゆっくりと移動する等、安全に留意した行動を継続いたします。
	4	3	0	0	0		発達支援室は45を心掛け、今後も障害物になる物の収納等を継続いたします。 また、長期休み前には、カーベットの洗浄を実施しております。
適切な 支援の 提供	5	3	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	6	3	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	7	3	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	8	3	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	9	3	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	10	3	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	11	0	1	0	2		ご利用者様の状況を鑑みながら、他の福祉施設とのイベントを通じた交流に参加しております。
保護者 への 説明 等	12	3	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	13	3	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	14	3	0	0	0		保護者様を集めての研修会等は開催しておりませんが、個々の保護者様からのご相談を伺う際に、ご家庭での支援方法等も含め、お話をさせて頂いております。
	15	3	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	16	3	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	17	3	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
18	2	0	1	0		今後、職員で話し合い、保護者様からのニーズをお聞きしながら、計画を進めていきたいと考えております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	0	0	0		HUGを通して、お子様方の活動状況や行事予定等を発信しております。また、各ご家庭とLINEを使用した連絡体制を構築しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	0	1	0	まだ参加したことがないそうです。	避難活動や引き渡し訓練を実施しておりますが、各曜日でまんべんなく実施できるよう配慮しながら、計画していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	0	0	0		お子様の怪我等の事故が発生した場合は、全て保護者様へご連絡するとともに、明石市様への連絡を徹底しております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3	0	0	0		お子様が楽しく通所できるよう、楽しい雰囲気を持続しながら、支援の実施を心掛けます。 今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3	0	0	0		お子様が楽しく通所できるよう、楽しい雰囲気を持続しながら、支援の実施を心掛けます。 今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3	0	0	0		少しでも保護者様からのニーズに沿えるよう、今後も鋭意努力を続けてまいります。 今後も、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型児童発達支援 はにーびー				公表日	2026年2月24日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2	限りあるスペースで事故やケガが起こらない様に職員を配置しております。支援室には怪我の元となる物品等は極力置かず、職員室へ収納しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	現在、お子様1.2名に対し、職員を1名配置しております。ご利用されるお子様の低年齢化もあり、経費等を鑑みながら、安全に支援ができる体制を整えております。	部屋の角等に頭や顔をぶつける恐れがあるので、注意したい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	2	施設内はバリアフリー化で段差の無い構造となっておりますが、マンション入口には階段があります。送迎時や外出時は、お子様と手をつなぎながら、手すりを持ち、ゆっくり昇降するなどの対応を心掛けております。	カーペットの掃除を定期的に行える方が良い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	2	業務終わりにには掃除と消毒を行い、45を実施して、清潔で快適な空間となる様心掛けております。また、長期休み前には、カーペットの洗浄を実施しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1	支援室の他に相談室を設けており、午睡時やクールダウン時などに適宜、使い分けを行っております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	1	日々の振り返りからのPDCAサイクルを回しながら、支援プログラムの向上を図っています。また、今後、お子様の日々の状態をデータ化し、年間の成長の見える化にも着手したいと考えております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2	保護者様から頂戴したご意見をもとに、会議にて検討し、今後のはにーびーの運営に反映しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	本アンケート等を通して、職員の意見を把握し、働きやすい職場となる様、業務改善を進めて行きたいと考えております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	6	あかし療育図鑑様の外部評価を実施しております。また、結果公表まで至っておりませんが、評価が出ましたら、内容を鑑み、業務改善を行いたいと考えております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	2	現在、弊社では、必須の研修は事業所内で実施し、それ以外の自己研鑽に関する研修は、外部研修を申し込み等で対応しております。なお、自己研鑽に関する研修は、会社より補助を出しております。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	多機能型児童発達支援 はにーびーのホームページにて掲載しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	面談時に保護者様からのニーズを個別に聞き取り、また、日々の弊所でのご様子も鑑み、個別支援計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1	個別支援計画を作成した後、各職員への回覧や朝礼時の児発管からの連絡などで水平展開を図っております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1	個別支援計画を作成した後、各職員への回覧や朝礼時の児発管からの連絡などで水平展開を図っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	弊所では、標準化されたアセスメントツールのアセスメントシートや5領域20項目チェックシートを使用し、お子様のアセスメントを行っております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	各項目の内容を踏まえながら、個別支援計画を作成しておりますが、今後も、さらに具体的な内容となるように計画内容の見直しを継続して行っていきたいと考えております。	毎月決められた職員が行っているため、振り分けても良いと思う。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	3	活動プログラムは、数人の担当職員が他の職員からアドバイスをもらいながら、立案しております。職場に滞在している時間が異なるため、チームでの起案は難しいのが現状です。	多機能型の施設で児発チームと放デイチームのプログラムの立案の難しさがある。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1	直接支援する職員から、プログラムやイベント案を募り、マンネリ化しないように心掛けております。	多機能型の施設で児発と合同のため、難しい場合もある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	1	個別支援計画には、個別・集団活動の両内容を記載し、支援に取り組んでおります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	支援開始前には、朝礼や昼礼を行い、その日の活動内容等について職員間の展開を実施し、お子様を迎え入れる用意をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	4	支援終了後は、送迎に入るため、大切な申し送りはなされているが、(勤務時間の関係上)翌日の報告になる場合もございます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	1	日々の支援記録は、サービス提供記録に記載し、WebソフトであるHUGに保管されております。また、今後、お子様の日々の状態をデータ化し、年間の成長の見える化にも着手したいと考えております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1	モニタリングは定期的に児発管が行い、保護者様からのニーズの聞き取り等を実施し、個別支援計画の見直し・反映を行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	1	ガイドラインの基本活動を踏まえ、支援を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	11	0	お子様の自己選択の支援のため、どのプリントをしたいか?やどっちが良い?などの選択肢を取り入れております。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	主に児発管が参加しております。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	4	少数ではございますが、お子様ご利用されている病院の主治医の先生やご担当される保健師の先生ならびに保育園の先生との情報共有を始めております。	現在、小学校への送迎がありません。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6	4	今後、必要になってくると思いますが、現在では、小学校や特別支援学校との間での情報共有は行えておりません。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	5	あおぞら園様との情報共有や園の見学などを実施させていただきました。	卒業の子を受け入れたことがない。対象がないため、分かりません。まだ実例がない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	6	まだ、お子様の中に対象者はおりませんが、卒業した者が出た時は情報提供を行いたいと考えております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	7	今後、必要になってくると思いますが、現在では、あおぞら園様との間での情報共有のみ実施しており、スーパーバイズを受ける機会は行えておりません。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	10	現在では、通所されているお子様が他のお子様と交流する機会は、図書館での活動時(読み聞かせ会に参加)や他施設とのイベント等に限られており、機会はそれほど多くはありません。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2	主に児発管が参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	日々のお子様のご様子は、HUGを通してご連絡しており、個別のご相談にも適宜、対応しております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5	集団でのペアレントトレーニング等は実施できておりませんが、個々の保護者様への相談支援時にご家庭での支援方法等をお伝えしております。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	ご契約時に詳しく説明するように心掛けております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	ご利用前には、アセスメントを実施し、お子様や保護者様のご意向を傾聴しております。また、個別支援計画はお子様の最善の利益を優先しながら作成し、内容を保護者様にご確認いただき、ご了承を得た上で、ご利用を開始させていただいております。ただし、会話が難しいお子様もいらっしゃるため、その時は、保護者様からのニーズにて支援計画を策定しております。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	ご利用前には、アセスメントを実施し、お子様や保護者様のご意向を傾聴しております。また、個別支援計画はお子様のご最善の利益を優先しながら作成し、内容を保護者様にご確認いただき、ご了承を得た上で、ご利用を開始させていただいております。ただし、会話が難しいお子様もいらっしゃるため、その時は、保護者様からのニーズにて支援計画を策定しております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	ご家庭の支援の一環として、適宜、お悩みごとに対して、面談等を実施し支援を行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	9	保護者会、保護者同士の交流の場は、まだ、設けられておりません。保護者様各位とは、個々には交流を深める対応を行っております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	保護者様からの苦情やご連絡は、各職員へ共有し、迅速かつ適切に対応するよう心掛けております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	イベント等は、各保護者様へ個別に情報をご提供しております。また、日々の支援内容等につきましては、Instagramでの展開やHUGを通した写真や状況のご連絡などで発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	写真の送付時には、他のお子様が無関係に心掛け、Instagramへのアップには、同意を得たお子様のみ掲載（顔は隠す）しております。また、お子様の個人情報の書類は、外部への持ち出しは禁止し、留意しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	適宜、お子様の思った事や感じたことを傾聴し、意思への配慮を実施しております。また、各保護者様とは、LINEやお電話を通した情報交換・共有を行う等実施しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	2	事業所の行事に地域の方を招待するなどは、実施しておりません。一方、近隣の福祉施設開催のイベントに参加したり、近隣スーパーでのお買い物体験や初詣等の外出イベントを実施しております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	各種マニュアルは作成し、計画的に訓練を実施しております。また、消防署への見学等、施設外での体験等も実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	BCPの策定を行い、研修とともに訓練も実施しております。また、非常食や避難用グッズ等も常備するようしております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	現在、ご利用されるお子様で服薬等の措置が必要な方はいらっしゃいません。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	現在、ご利用されるお子様で食物アレルギーをお持ちで医師の指示書がある方はいらっしゃいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	安全計画は、多機能型児童発達支援 はにーびーのホームページに掲載しており、計画に基づいて、各種訓練や点検等を実施しております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	各種訓練については、取り組み内容等、保護者様と共有が図れております。	概ね問題ないが、あいまいな所もある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	ヒヤリハット用の報告をファイルにまとめ、いつでも閲覧できる状態にしております。また、ヒヤリハットが発生した場合は、各職員へ情報展開を実施し、会議等で共有化を図っています。	全くないわけではないが、不十分だと思う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	1	定期的に虐待防止研修等を開催し、虐待防止対策を行っております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0	職員には定期的に身体拘束の研修を開催し、お子様への身体拘束を行う場合について、個別支援計画に記載しております。また、保護者様へは、同計画の説明時に身体拘束についてもお伝えしております。		